

植物園八甲田山分園における施設利用受け入れについて

【重要】

・ Covid-19 感染症に対する対策が大きく緩和されており、2023 年 4 月 1 日現在、東北大学は BCP レベル 0 となった。この状況を鑑み、東北大学植物園八甲田山分園は、「植物園八甲田山分園における施設利用受け入れについて（令和 4 年 5 月 27 日改訂）」を改訂した本稿に基づき、今後の外部利用受け入れを行うこととする。

・ 外部利用受け入れの条件、利用時の感染防止対策、体調不良者発生時の対応については、今後変更の可能性がある。

1. 外部利用受け入れの条件

・ 外部利用の受け入れ可否については特段の条件を設けない。感染症対策のために設定した宿泊者・実習室利用者の人数制限を撤廃する。

2. 利用開始前の感染防止対策

・ 利用者（宿泊者だけでなく、施設外宿泊しての実習参加者も含む）は、来園前 5 日間の健康状態チェック（風邪の症状＋体温）を実施すること。ただし、PCR 検査、抗原検査は不要。健康状態チェックで体調不良が明らかな方は利用の自粛を求める。

3. 施設内感染防止対策

- ・ 管理棟/実験棟の利用について、感染症対策のために設定した利用者数制限を撤廃
- ・ 管理棟/実験棟では室内の換気を引き続き徹底
- ・ 実習器具を学生各々の専用とし、できる限り他学生と共用しないよう十分な数を準備
- ・ 石鹸と流水による手洗い、消毒液の利用は引き続き推奨
- ・ 施設内でのマスク着用については各自判断
- ・ 毎日の健康状態チェック（風邪の症状＋体温）を継続
- ・ 宿舍の共用スリッパの利用を再開

3. 体調不良者発生時の対策

・ 37. 5℃以上の発熱が確認され、かつ、咳の症状がある等、感染症の疑いがある体調不良を訴える利用者が出た場合には、医療機関での受診を補助する。その後、利用を継続するかどうかは、外部利用責任者および利用者に判断を委ねる。